

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R7年12月25日

事業所名: 発達支援センター巣立ち
(放課後等デイサービス)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	20	80	0	・規定内ではあるが、自由時間等には十分ではないと感じる。 ・日によっては定員を超えている時もあるが、支援員のサポートで対応はできている。部屋はもう少し広い方がいいと思う。	87	9	0	4	・活動部屋の中の様子を見たことが無い。 ・入る機会もないためわからない。	希望者には見学してもらい、部屋の様子を、知らせるようにしていく。
	2 職員の適切な配置	0	100	0		85	9	0	6	利用者の人数が多い割に職員は少ないと感じる。	職員が足りない場合は、生活支援員等の代替え職員で対応している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	40	60	0	・子供達がわかりやすいような掲示等になるよう工夫をしている。 ・部屋の角の部分は緩衝材を付けて保護している。 ・背の低い児、身体的に不自由な児には踏み台を用意しサポートしている。	89	4	0	7		安全面を考慮し、個に応じた対応をしており、今年度は踏み台や椅子を利用した対応を取り入れている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	60	40	0	壁紙が破れていたり、マットが痛んでいたりする所が多いため、改善が必要だと思う。	85	6	0	9		毎日、清掃やアルコール消毒を行っている。破損箇所はその都度修繕するようにしている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	60	40	0	・時間の確保が難しいこともあるが、全員で振り返りを行うようにしている。 ・ミーティング時に振り返りを行ったり職員間での情報共有は行っている。						毎日のミーティングの中で実施している。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	20	40	40	アンケートを通じての評価は行っているものの、それを業務改善に生かしているとはいえない。						第三者による外部評価は、未実施である。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	80	20	0							月1回のオンライン研修、年数回、教育支援室の先生を講師とした研修を継続して実施している。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	100	0	0		85	9	0	6	昨年度作成し、市のホームページに公開している。
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100	0	0		89	4	0	7	個々へのアセスメントを丁寧に行い、評価と課題、ニーズを踏まえた計画を作成してきた。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	80	20	0		89	7	0	4	モニタリングの内容を共有し、共通理解のもと支援に当たるようにしてきた。
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	60	40	0						利用者の個性や状況を理解し、個に応じた計画になるように取り組むようにしている。
適切な支援の提供（続き）	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	80	20	0		83	7	0	10	毎日のミーティングを通して、個々の特性を把握し、共通理解のもと、支援にあたるようにしている。
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	100	0	0						全員で確認しながらプログラムを決定している。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	80	20	0		87	9	0	4	職員が得意分野を生かした内容や、季節感のあるもの、子どもの興味・関心の高いものを積極的に取り入れるようにしてきた。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	60	40	0	きめ細かに設定はできていない。					長期休暇中は、外部での体験活動や見学等、平日では体験できにくい内容の活動を積極的に取り入れてきた。
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100	0	0						毎朝、ミーティングの中で支援内容や役割分担等について全職員で確認している。
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	40	20	0	毎日確実にできているわけではない。その時に立ち話程度での振り返りになることもある。					振り返り→実践となるように職員間で話し合いの機会をもち、共通理解を図っている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点		保護者の方のご意見				
	11	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	100	0	0					毎日、活動記録を残し、支援の改善や目標設定に役立っている。また、記録を全員で回覧することで、情報の共有化を図っている。	
	12	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	100	0	0					定期的なモニタリングを実施することで、保護者のニーズを把握し、今後の見直し、改善に努めている。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	80	20	0	会議の時間などの関係で他のスタッフは参加しにくいと、外部との会議では主に児童発達支援管理者が参加している。				主に児童発達支援管理者が参加している。ほかの職員も可能な範囲で参加するようにしていきたい。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施								現在、受け入れをしていない。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備								現在、受け入れをしていない。	
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	40	60	0	十分とは言えないが、文書でのやりとりは行っている。					児童発達から引き続き利用する子どもについては、情報を共有して関わっている。各学校とは、予定表送付時に様子を伝え、連携を図っている。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	20	60	20						ケース会議や電話を通して、できる範囲で情報提供に努めている。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	40	60	0	教育支援室との連携で、研修講師を月1回程度派遣している。					教育支援室と連携することで、専門的な研修の機会がふえた。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	7	0	40	60	公共の場で大人と接することはあるが、障がいのない子供との交流はない。	36	20	9	35	・あまり機会がないと思う。 ・利用者だけの活動が主だと感じる。(長期休みの時だと利用した場所で大人と接する機会はあると思う)	長期休暇中、交流の機会を設定するようにしてきた。
	8	40	20	40	地域、保健センター周辺を子供達と散策して手がかりを得るようにしている。	/	/	/	/		保護者参加の夏祭りや、他の放課後等デイサービス施設との親子の交流を実施した。
保護者への説明責任・連携	1	100	0	0		96	4	0	0	いつも丁寧に説明してくれている。	利用開始前の話合いの中で、丁寧な説明に努めている。
	2	100	0	0		92	4	2	2		利用開始前の話合いやモニタリングの際に、課題やニーズを共有しながら計画を作成し、丁寧な説明に努めている。
	3	40	40	20		52	17	7	24		研修等を通じて専門知識を身に付け、適切なアドバイスができるように努める。
	4	100	0	0	迎えの際にその日の様子を伝えるようにしている。	89	9	0	2		引き渡しの際や、モニタリングを通して、子どもの状況を伝え、共通理解のもと、個々に応じた対応に努めている。
	5	80	20	0		96	2	2	0		引き渡しの際や、モニタリングの中で、保護者の願いに寄り添った対応に努めている。
	6	80	20	0	年2回、教育支援室ペアレントメンターと一緒に、座談会の機会を設けている。	39	22	2	37		2年前から教育支援室と連携を取り、ペアレント・メンターとの座談会を定期的に開催してきた。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
支援	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100	0	0		63	7	2	28	迅速に、誠意ある対応に心掛けてきた。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100	0	0		89	9	0	2	共通理解のもと、個々の特性に応じた方法で伝えるよう心掛けている。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	100	0	0		80	11	0	9	毎月、活動予定を家庭送付している。また、活動の様子について、会報で定期的に発信してきた。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	100	0	0		89	7	0	4	利用していると学校や利用者の顔はわかってくる。説明を受けるときにも他児の氏名などはわかってしまうのではないかと思う。	個人情報の取扱いについては、職員間で確認しながら注意してきた。
非常	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	80	20	0		63	11	4	22	説明を受けていると思うが、年一回ほどでのため再説明があると助かる。	昨年度新たに、感染症対応マニュアルを作成した。保護者への周知に努める。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	80	20	0		52	7	0	41		保健センター内の避難訓練や、県主催の原子力防災訓練、津波避難訓練に積極的に参加している。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	100	0	0							服薬時、与薬依頼書と薬剤情報提供書を提出してもらい、共通理解のもと行うようにしている。てんかんについては、てんかん発作時のマニュアルを作成し、共有している。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	80	20	0							保護者との面談を通して実態把握に努め、おやつ提供やクッキングの際には、その都度確認するようにしている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標						
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点			はい		どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見		
常時等の 対応	5	安全管理の徹底	60	20	20					78	2	2	18		安全計画を策定しており、それに従った取組をしている。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	80	0	20										本施設利用の際に説明しているが、さらに機会をとらえ、継続した周知について検討する。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100	0	0										事例がある場合、ヒヤリハットに記録を累積し、共通理解のもと対応している。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	100	0	0										虐待防止委員会を設置し、職員研修を実施している。日々、職員間で情報交換するようにしている。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	80	20	0										身体拘束適正化委員会を設置し、職員研修を実施している。現在、具体的な事例はない。